

## 令和5年度 世田谷区立尾山台小学校

# 学校関係者評価 報告書

日頃より本校の教育活動につきましてご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、例年、児童・保護者・地域の皆様をお願いしております学校関係者評価アンケート、今年度の集計が終わり、その結果をもとに学校関係者評価委員会を開催いたしました。今年度も皆様のご協力に感謝いたします。昨年度から、保護者および地域アンケートが、これまでの紙のアンケート用紙から Google Forms によるオンライン匿名回答に変更になりました。それが回収率に表れていると見ることができます。Google Forms による回答が大幅に減少したため、評価はあくまでも集計結果に基づくものであることをご理解いただきたく願います。

評価委員会で分析・検討した結果とこれに基づく課題解決のための方策をまとめました。つきましては以下、ご報告いたします。今年度からコロナウィルスが5類に移行されたものの、教育活動が少なからず制約を受けたことは言うまでもないことでありましょう。そのような中であっても、ここ数年同様、全体的な評価の高さは今年度も維持されております。

この結果を踏まえ、さらなる教育活動の充実をめざした令和6年度の教育課程編成が、校長を中心とした全教職員・子どもたち・保護者・地域の〈チーム尾山台〉によって行われることを願っております。生き生きとした学校教育活動は、多くの保護者や地域の皆様からの温かい応援なくては成り立ちません。引き続き、尾山台小学校を「うちの学校・うちの子どもたちの居場所」ととらえ、ご協力とともに、よりよいご意見をお寄せくださるよう、お願い申し上げます。

### 1 用紙の配布と回収について

	保護者（児童数配布*1）	児童（3～6年生）	地域
回収数/配布数	352/532	317/328	25/62
回収率	66%（55%） （ ）内は、前年度	96%（96%） （ ）内は、前年度	40%（46%） （ ）内は、前年度

\*1)保護者アンケートは児童数に合わせて各家庭に依頼

◆令和5年度 世田谷区立尾山台小学校学校関係者委員会

岩崎敬道 神谷順一 吉田直弘 本間尊広 水田裕子

## 2 令和5年度の学校評価について

### (1) 令和5年度学校経営方針の「目指す学校像」に沿った評価

アンケート数値目標の設定による評価は廃止となっている。本報告書において挙げる数値は達成度を計るものではないものの、各項目における経年変化に着目するなど、評価作業においては有用であるため、以下アンケートに表れた数字を挙げながら評価を述べる。アンケートは、(A) とてもそう思う、(B) 思う、(C) あまり思わない、(D) 思わない、(E) 分からないの5つの選択肢によって回答がなされており、以下ここでは、AとBとを合わせたものを「肯定的評価」、CとDとで「否定的評価」と記すことにする。

なお、児童アンケートは世田谷区において5、6年生においてのみ実施されているが、尾山台小学校では経年変化の分析のために、独自に3、4年生にもアンケートを実施している。この報告書における児童アンケートの数値は3～6年生の平均値である。

#### 令和5年度学校経営方針

##### 「目指す学校像」(尾山台小学校学校要覧参照)

- 1 子ども一人一人が、安心して自分のよさを発揮し、笑顔と元気にあふれる、意欲的、創造的に活動する学校
- 2 保護者・地域社会と相互理解、連携を図り、学校の役割をよりよく果たして、その信託にこたえる開かれた学校
- 3 芸術や伝統・文化に学ぶ教育活動を大切に、情操や感性を豊かに育てる学校

【目指す学校像①】 子ども一人一人が、安心して自分のよさを発揮し、笑顔と元気にあふれる、意欲的、創造的に活動する学校

- このことに対応するアンケート項目として、
    - 児童独自項目7-(1)「わたしは、自分のよいところや得意なことがわかっている」肯定的評価85.8%
    - 同7-(2)「わたしは、自分を大切にしている」肯定的評価80.6%
    - 同7-(3)「わたしは、相手を大切にしている」肯定的評価89.2%
    - 同7-(4)「わたしは、誰かに支えられていると思う」肯定的評価86.2%
    - 同7-(5)「わたしは、誰かを支えていると思う」肯定的評価66.4%
    - 同7-(6)「わたしは、人との関わりの中で自分がのびていると思う」肯定的評価76.3%
- と、これらの項目において、比較的高い数値を示しており、児童たち自身自我の育ち方を意識する年齢には十分達していない年齢ながらも、自分、他者というものの存在を意識してきていることが見て取れる。「わたしは、誰かを支えていると思う」の肯定的評価が66.4%と比較的低い数値を見ると、「相手を大切にしている」ことはできていても、他者との関係性の中での自分というとならえ方をする発達の過程にあるのではないだろうか。また、7-(9)「学校は私たちが『元気』『笑顔』ですごせる環境作りをしようとしている」の肯定的評価が85.9%を示し、児童からの学校評価は高く、自己の成長に関し、自身の課題としてとらえているようにも思える。

- 意欲をもった意欲的、創造的活動という面に関しては、
  - 独自項目 7- (8) 「先生たちは、わたしたちが『わかる』『できる』授業をしようとしている」肯定的評価 79. 3%
  - 児童共通項目 1- (1) 「先生は、課題 (めあて) について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」肯定的評価 90. 8%
  - 同 1- (3) 「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」肯定的評価 94. 4%
  - 同 3- (1) 「学校行事は、楽しい」肯定的評価 86. 8%
  - 同 3- (2) 「学校行事は、達成感がある」肯定的評価 85. 1%
  - 同 3- (3) 「先生は、児童の意欲を大切にしている」肯定的評価 92. 6%

といずれも高い値を示しており、児童たちが学習においてめあてを意識して取り組み、先生方もそれに応えてくれている、ということも意識されていることが表れている。

- なお、保護者の回答を見ると、
  - 保護者共通項目 1- (1) 「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている」肯定的評価 81. 9%
  - 同 3- (3) 「本校は、子どもの意欲を大切にしている」肯定的評価 88. 2%
  - 同 6- (4) 「本校の教育活動に満足している」肯定的評価 82. 9%

保護者にとっても、授業や行事などの教育活動に対して高評価を示している。ここには保護者の学校に対する期待が見て取れる。

評価委員会では過去のデータをもとに経年分析もおこなっている。質問項目の変更により単純に経年比較ができない部分もあるが、経年変化に着目すると、項目によって多少の上下が見られるものの、概ね良い評価を維持していると評価できる。

**【目指す学校像②】** 保護者・地域社会と相互理解、連携を図り、学校の役割をよりよく果たして、その信託にこたえる開かれた学校

- このことに対応する保護者アンケート項目として、
  - 保護者共通項目 5- (1) 「本校は、丁寧に指導している」肯定的評価 86. 3%
  - 同 5- (2) 「本校は、子どものことを相談しやすい」肯定的評価 83. 2%
  - 保護者独自項目 1 2- (8) 「先生は、子どもたちが『わかる』『できる』授業をしようとしている」肯定的評価 76. 9%
  - 同 1 2- (9) 「学校は、子どもたちが『元気』『笑顔』で過ごせる環境づくりをしようとしている」肯定的評価 87. 1%
  - 同 1 0- (1 0) 「学校は、子どもたちが安心、安全に過ごせる場所だと思う」肯定的評価 92. 4%

と、これらの項目において、高い数値が示されている。今年度の経営理念『安心・安全な学校』づくり かしこく・なかよく・げんきよく」において、先生の指導や施設面における安心・安全という面で、保護者は概ねよい評価をしており、今(令和5)年度もまた学校への信頼というものが示されている。

- また、地域アンケート項目は、
  - 地域共通項目1-(1)「通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている」肯定的評価88.0%
  - 同2-(2)「事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある」肯定的評価92.0%
  - 同3-(1)「学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる」肯定的評価100%
  - 同4-(2)「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している」肯定的評価88.0%
  - 同5-(1)「地域の人や施設を教育活動に活かしている」肯定的評価88.0%

と、いずれも高い評価になっている。学校の教育活動は地域の支援が欠かせなくなっている現在、学校に対して一定の評価・信頼を寄せて下さっている様子が見え、さらに協力をお願いできればと考える。

### 【目指す学校像③】 芸術や伝統・文化に学ぶ教育活動を大切に、情操や感性を豊かに育てる学校

- このことに関しては、学校像①でも触れた児童アンケート項目
  - 児童独自項目3-(1)「学校行事は楽しい」肯定的評価86.8%
  - 同3-(2)「学校行事は達成感がある」肯定的評価85.1%

の結果にうかがうことができる。この2項目は、どちらも非常に高い数値を示しており、大部分の児童がさまざまな学校行事を楽しみにし、またその経験によって達成感、充実感を持っていることがわかる。

- また、保護者アンケートにおいても、
    - 児童独自項目3-(1)「学校行事は、子どもにとって楽しい」肯定的評価94.0%
    - 同3-(2)「学校行事は、子どもにとって達成感がある」肯定的評価95.4%
- と、保護者も、学校行事に対して児童たちの満足度を共感的とともによい評価を示している。

#### (2) その他の項目の評価

- 昨年度から独自項目として新たに加えた読書に関し、次のような評価を得ている。
    - 児童独自項目7-(7)「わたしは、本を読むことが好きです」肯定的評価65.5%
    - 保護者独自項目12-(7)「子どもは、本を読むことが好きである」肯定的評価59.4%
- 今年度は読書指導に力を入れている様子が見え、児童たちの反応はいま一つのようなのである。

それは、児童たちを取り巻くと環境にゲームやスマホなどのメディアがたやすく手に入るようになっていることが一つの要因として考えられる。大人の生活状況を見ても活字離れが進んでいることは見逃せない。また、ICT 教育推進の効果も否定されるものではないが、これもまた要因の一つとして挙げられるかもしれない。これに対しては日常の授業等の中での指導も大きな要素として考えられるので、来年度以降の変化に注目していきたい。

- 例年、学び舎についての情報提供に関するアンケート項目があり、低い数値となっているが、学び舎との連携や交流活動を評価対象として加えることに、日常の教育活動の多忙さの中では難しさがあるのではないだろうか。

### 3 評価のまとめ

アンケートの結果として全般的に見て評価が高く、学校経営方針に基づく運営の目標は概ね達成されており、学校経営全体として大きな問題はないと言える。

本文で紹介したように、多くの児童が学校生活を楽しいと感じ、また先生への信頼も高いことから、児童たちにとって学校という存在がとても大事になっていることがうかがえる。もちろんこのアンケート結果に必ずしも現れない児童たち一人ひとりへの細やかな個別対応があり、先生方のその労への感謝もここで表しておきたい。

児童、保護者に比べて、地域の方々にはまだまだ学校における教育活動が見えにくい部分がある可能性もあるだろう。それでも地域の方々が積極的に関心をもって関わってくださっている。

令和6年度も、「かしこく・なかよく・げんきよく」学ぶ児童たちが育つ「安心・安全な学校」づくりがさらに進められ、「笑顔いっぱい！ 元気いっぱい！」な児童たちの成長を、保護者も地域も温かく見守りつつ、喜びあう学校経営が積極的に進められることを願う。働き方改革が求められる昨今であるが、先生方が「わかる授業 できる授業」実施のために力を注いでおられることも大いにいたわれるべきであろう。先生方が多忙な中であっても、個々の児童のニーズに応じた教育のために、一人ひとりの子どもたちと関わる時間を、なるべく多く取ることができる学校経営をお願いしたい。